



2011年4月1日をもって「公益財団法人がん研究会」へ移行しました

がん研究会は1908年に設立され、1934年に西巢鴨の地に研究所と病院を建設して以来、民間のがん専門機関として、「がんの克服を持って人類の福祉に貢献する」ことを目的に、一貫して、がん研究とがん医療の推進を柱とする各種事業を推進しております。

1980年代からは、世界に先駆けて分子生物学的手法を取り入れ、数多くの世界的な研究成果を上げて国内外のがん研究を牽引するとともに、国内随一の豊富ながんの臨床例を用いた研究から、がんの新たな病理診断分類の提唱や、各種がんの標準的手術術式の確立を行うなど、世界のがん研究の進展とがん医療の発展において、先導的役割を果たして参りました。

また、がん研究会は、日本癌学会を始めとする数多くの各種がん関連学術団体の立ち上げや運営支援を行うとともに、米国国立がん研究所との共同事業としてがん研究者の国外派遣を長年にわたって行うなど、国内のがん研究の振興を支援するとともに、国内の拠点医療機関で指導的立場に立つがん臨床医を数多く育成し、がん医療の発展に大きく寄与しております。

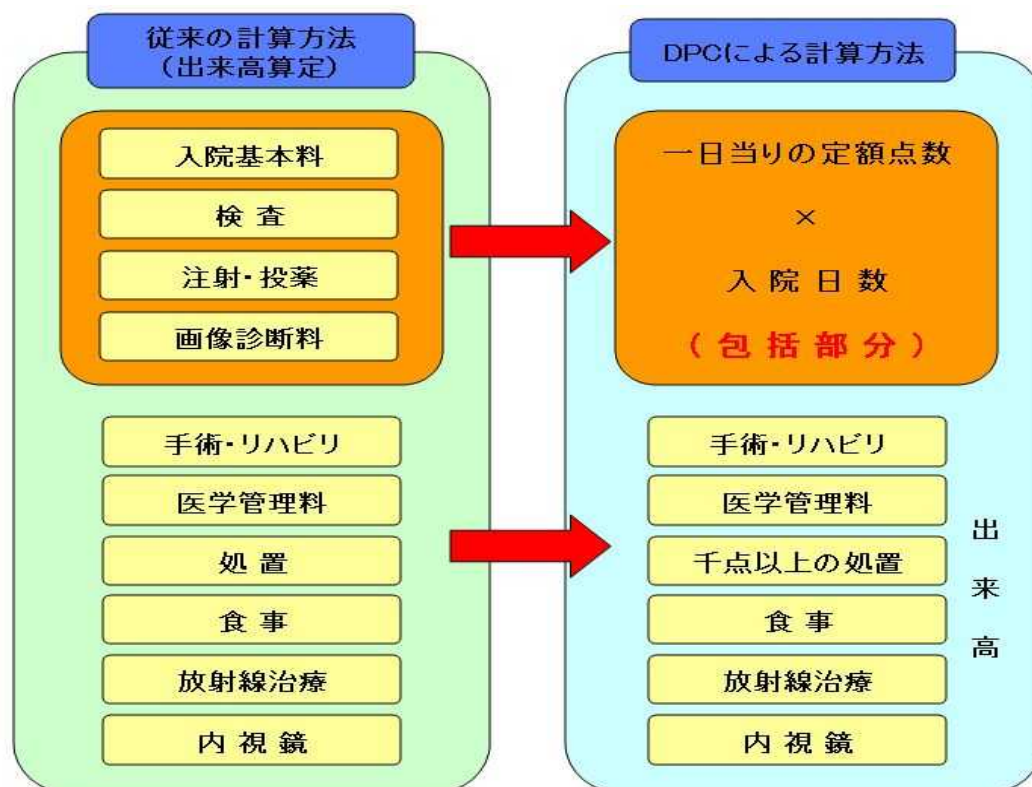
2005年には、江東区有明への移転に伴い、国内を代表するがん専門機関としての使命を再認識し、先進的がん医療を行いながら、日本における次世代がん医療創生に貢献するため、基礎から臨床までの体系的ながん研究を一体として推進する「がん研究拠点」として機能しております。

本財団ではこの度、内閣総理大臣より公益財団法人としての認定を受けて、2011年4月1日より「公益財団法人がん研究会」として新たなスタートを致しました。民による公益を目指し、がん克服のため最善の努力をいたす所存でございますので、なにとぞ一層のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

DPC (包括支払い) 対象病院の認可を受けました。

当院は平成23年4月1日、厚生労働省から DPC 対象病院として認可を受けました。これに伴い、4月1日以降に入院された患者さんについては、入院医療費の算定方法が従来の「出来高方式」から「包括方式」に変わりました。

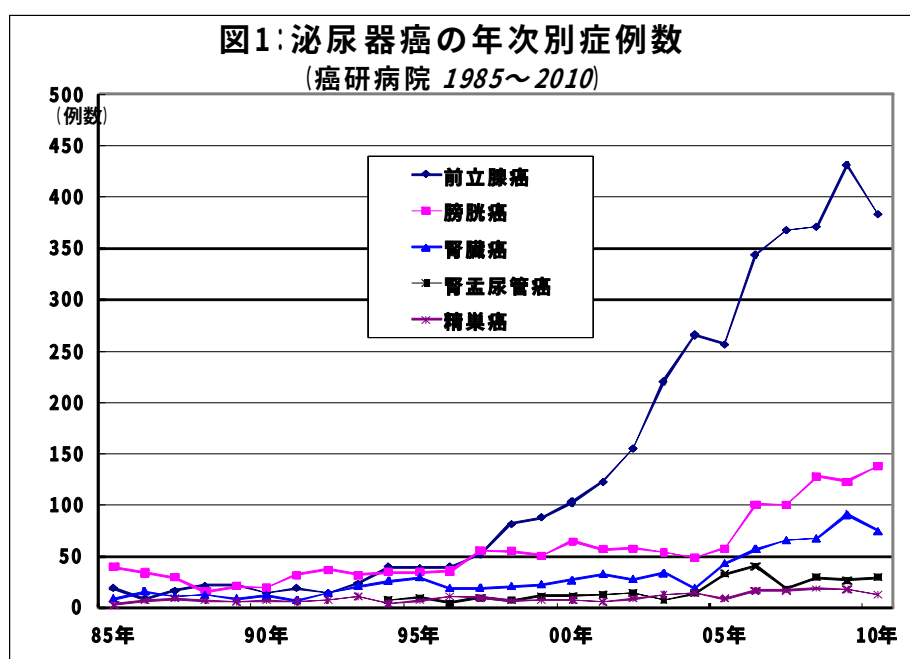
DPCとは、「Diagnosis Procedure Combination」の略で「診断群分類」を意味します。入院される患者さんの病状などをもとに手術や化学療法、処置の内容に応じて定められた1日当たりの定額の点数を基本に、医療費を計算する方式です。従来は、投薬・注射・検査などの診療行為を行った分を合計して計算する「出来高算定」方式でしたが、DPCでは1日当たりの点数が決められており、投薬・注射・検査などの診療行為はその決められた点数に包括されています。従いまして、投薬・注射・検査などの診療行為を多く行う必要があった場合でも、1日当たりの包括診療費は変わりません。ただし、手術などの医師の専門的な技術を必要とする分野は、従来の「出来高算定」方式で医療費を計算致します。



この DPC 制度の導入により、他施設データとの比較解析を行い医療の質の向上と標準化を目指します。また平均在院日数の短縮や、クリニカルパスの利用促進などより効率的な診療・治療の提供に努めます。さらに地域医療ネットワークの拡充などにもつなげ今後も皆様と手を取り合い、ご紹介の患者さんへ安心を提供していく所存です。

泌尿器科紹介

泌尿器科は尿路生殖器科とも呼ばれます。尿を作り、排泄する尿路と生殖に関わる男性生殖器を主に扱う診療科です。尿路は、尿を作る腎（実質）と尿の排泄経路である腎盂・尿管・膀胱・尿道から成り、生殖器は精子を作る精巣（睪丸）、精子を貯めておく精巣上体、精子を運ぶ精管、精液を作る精嚢と前立腺そして男子のシンボルである陰茎から成ります。その他に重要な内分泌器官である副腎も扱います。



泌尿器科腫瘍は前立腺、膀胱、腎臓の順に多く発生し、米国では男子がんの中でそれぞれ第1位、4位および6位と高い発生率を示します。

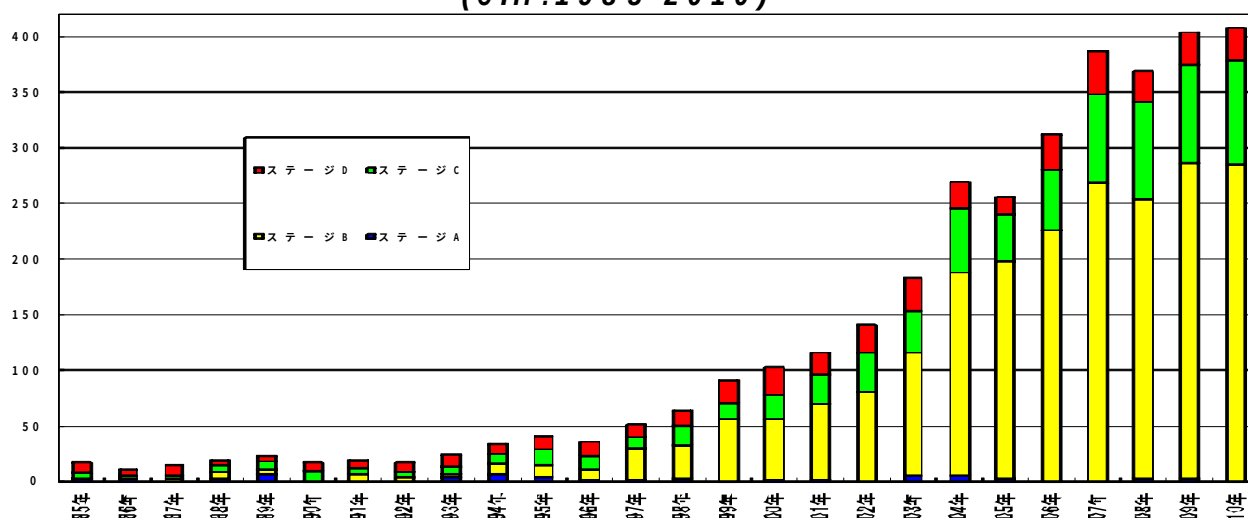
わが国でも近年、これらのがんは

いずれも増加傾向にあります。中でも前立腺がんは著明に増えています。当院での過去25年間におけるそれぞれのがんの年度ごとの患者数推移を図1に示します。

前立腺がんでは腫瘍マーカーPSA（前立腺特異抗原）の発見と生検検査法の進歩による診断効率の改善が早期発見率の向上に寄与し、当院で治療した患者さんのがんの進行度は図2に示すようにステージBの早期がんの増加が顕著です。このような増加傾向を示す前立腺がん患者さんに最適な治療法を効率よく提供するために、2005年3月の有明への移転を契機に前立腺センターを設立しました。

治療内容はがんの種類によって当然異なりますが、基本方針は“個々の患者さんに応じた最適な治療の提供”です。すなわち、早期がんにはQOLを重視した機能温存療法を行い、局所進行がんには広範切除手術と補助化学療法による治癒率の改善を目指します。そして転移のある進行がんには化学療法を中心とした集学的治療、もしくは最善の支持療法を提供いたします。

図 2：年 次 別 ・ ス テ ー ジ 別 前 立 腺 がん 症 例 数 の 推 移
(CIH:1985-2010)



2009 年 4 月からは泌尿器がんを専門とする腫瘍内科医が着任し、進行腎臓がんに対する新しい分子標的薬治療、その他の進行泌尿器がんに対する化学療法、および新規薬剤の治療・臨床試験などを担当し、泌尿器がんのチーム医療体制がさらに充実しました。

スタッフ紹介

 福井 巖 泌尿器科部長 兼 前立腺センター長	 米瀬 淳二 (副 部 長)	 山本 真也 (医長)	 浦上 慎司 (医長)
 湯浅 健 (医 長)	 吉川 慎一 (医 員)	 矢野 晶大 (医 員)	

その他スタッフ

久保 雄一、助川 玄、伊藤 将也、安田 庸輔

がん研有明病院ボランティア活動のご紹介

当院では、ボランティアがそれぞれの経験や得意分野を活かして自らの意思で活動しています。ボランティアとのふれあいによって、患者さんやご家族に社会とのつながりを感じていただき、穏やかで心地よい、患者さんのご自身らしい日常生活を送っていただけるように、医師や看護師、病院スタッフと協力して患者さんにご家族のサポートをしています。

ボランティアは、医療従事者でも家族でもありません。だからこそ、語ること、共感できること、受け止めることが、あるかもしれません。エプロンをかけて活動しているボランティアに、遠慮なくお声をかけてみてください。

《活動内容》

病院ボランティア運営委員会に主催によるコンサートの他、『ボランティアわかば』、『帽子クラブ』の活動など、院内で多くのボランティアが活動しています。

◇コンサート◇

毎月第3木曜日の17:00より1階のホスピタルストリートにて、ホスピタルコンサートを開催しています。

また、毎週BGMコンサートや緩和ケア病棟でミニコンサートもおこなっています。

＊お問い合わせ先 ボランティアコーディネーター
☎03-3520-0111



◇ボランティアわかば◇

幅広い世代のボランティアが登録しています。ボランティアそれぞれの得意分野を活かして、図書、ソーイング、折り紙、カード作り、各種イベントの他、院内のご案内、緩和ケア病棟サポートなど様々な活動をしています。

＊活動時間 月曜日～金曜日（10：00～16：00）
 第1・3土曜日（10：00～12：00）

＊お問い合わせ先 ボランティア室直通 ☎03-3570-0358



◇帽子クラブ◇

婦人科医や看護師によって始まったボランティアの会です。抗がん剤治療中で様々な悩みをかかえる患者さんのお手伝いをしています。

＊活動時間 水曜日・金曜日（14：00～16：30）
＊お問い合わせ先 婦人科 ☎03-3520-0111



■ お知らせ ■

がん研有明病院ホームページがリニューアルしました。

当院のホームページが新しくなりました。特徴としては、病院トップページから、がんの種類を選択して頂くことにより、それぞれの病気や治療の関連情報を得ることができるようになりました。

それぞれのがんに関するページからは、担当診療科を選択することもでき、診療科の特徴、スタッフの情報などをご覧頂くことができます。治療までの待機期間も表示され、月1回更新して常に最新の情報をご紹介します。また、サイト内の検索機能をつくり、目的の情報を探しやすい、また文字の大きさも変更することができるよう見やすさにこだわりました。是非、ご覧いただきたくご案内をさせていただきます。

がん研有明病院

URL : <http://www.jfcr.or.jp/hospital/>

先生方へのご案内

医療連携課では、医療機関の先生方からご紹介をいただいた患者さんの診察(セカンドオピニオン)の予約調整を行っております。また、経過報告書の管理、診察に関するご案内等を行っております。お問い合わせの窓口としてご信頼いただけますように、迅速・確実な対応を心がけて行きます。ご紹介は、下記の電話・FAX でお申込みいただけます。(患者さん自身でお電話いただき予約することもできます。)

電話 : 03-3570-0506 (医療機関様用)

03-3570-0541 (患者様用)

FAX : 03-3570-0254

連携医療施設の登録のご案内

当院との医療連携が密接な医療機関に、「連携施設」となっていただいております。連携施設にご登録いただけます先生方は、医療連携課へ電話もしくはメールにてお問い合わせくださいますようお願いいたします。当院は、地域医療機関と協力して地域医療の推進に努めます。

連携施設 292 施設 (2011年3月31日現在)

公益財団法人 がん研究会 有明病院

発行: 医療連携課

〒135-8550 東京都江東区有明3-8-31

TEL 03-3570-0506

FAX 03-3570-0254

(E-mail): renkei@jfcr.or.jp